

会議等名	令和8年度海老名市地方創生推進連絡会議
日 時	令和8年8月4日（火）9：30～11：40
場 所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	委 員：前場委員、川島委員、中島委員、篠原委員、下澤委員、 吉澤委員、和泉委員（代理：安田委員） 以上7名出席 事務局：石田参事、片山政策経営係長、高橋 事業所管課：文化スポーツ課 東条文化振興担当課長、田村副主幹、 横溝スポーツ振興係長、小林主事
1 開 会 2 自己紹介 3 内容 （1）海老名市地方創生推進連絡会議の趣旨 及び 地方創生に係る取組について 事務局及び事業所管課より資料を用いて説明 （2）取組事業の現地視察 ・河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備事業   ・（仮称）海老名市文化交流拠点整備事業（第1期） ※事業用地を車窓から視察 （3）意見交換 ＜河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞ ○ さがみグリーンライン（県道 409 号：相模川自転車道）が寸断されてしまっており、運動公園ともつながる道であるので、非常にもったいなく感じている。 ○ 厚木駅が最寄り駅となると思われるが、駅から広場までの道路状況が良くないので、併せて整備を検討いただきたい。 ○ 海老名運動公園の第2会場としての活用も行われる立地と思われるので、運動公園からの移動支援等についても研究されたい。	

○ 全世代を対象にモルックの普及を進めているが、芝生の広場は非常に良い場所だと感じた。昨年、厚木市で全国大会も開催されているので、今後の活用としても良いのではないかと思った。

(事業所管課：回答)

さがみグリーンラインが寸断されてしまっていることについては、スポーツ振興を所管する部署としても同じ思いでいる。実現は難しい部分と認識。県の所管する道路であることもあり、運用を行いながら動向を注視していきたい。モルックは全世代が楽しめるスポーツとして、市も普及させていきたいと考えており、今後ともよろしく願いたい。

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

○ 設備についてはこれからとのことだったが、どのようになるのか気になる。スポーツ広場については、棲み分けをしっかりと整理していくべきと考える。誰もが安心して使用できる広場を目指してほしい。

(事業所管課：回答)

誰が使っても安全に利用できるように運用を行っていくことを念頭において進めていきたい。8月にはプレオープン、令和9年中には本格供用開始を予定している。プレオープン期間での利用状況等を見極めながら、利用ルールについては検討していく。

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

○ 現地を見て改めて、広くてきれいな広場で素晴らしかった。せっかくの空間なので、地域の子どもを巻き込むような取り組みに期待する。

＜(仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)＞

○ 事業計画地には以前は住居がなかったが、現在ではタワーマンションが建設され、施設利用目的以外の散歩等で出歩かれている方が見受けられるようになった。そういった方々が、気楽に施設に立ち寄れる・立ち寄りたいたいと思える場にしていっていただきたいと思う。

(事業所管課：回答)

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

子どもたちには、どんどん利用いただきたいと考えている。全市民を対象とした施設ではあるが、まずは近隣の学校から働きかけていきたいと考えている。授業や部活動でも積極的に活用してもらいたい。施設の供用開始に伴い、車両の動きにも変化が出てきてしまうと思っている。スクールゾーンに面している施設であるため、交通の安全確保にも注視していきたい。

＜(仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)＞

委員と同様に交流することが大事だと認識している。ふらっと立ち寄れる場となるようにフリースペースを設ける予定。

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

- プレオープンから本格供用開始までの期間で、ルールを見極めていきたいとのことであったが、その間のルールもしっかりと定めておく必要があるのではないか。
- スポーツエリアでサッカーをした場合等に川との境が近くボールが敷地の外に出てしまう可能性があり、危ないのではないか。

＜(仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)＞

- 商工会議所については9年ほど前から「老朽化が進んでいる」「バリアフリー化ができていない」と言われていた。当時は単独での建て替えを検討していたが、その時、一番参考になったのは藤沢商工会議所だった。施設内に多くのレンタルスペースが整備され、市民が文化交流等に広く利用されており、商工業に関わる人だけではなく、様々な世代が利用している施設だった。それを受けて、海老名商工会議所としては「市民に広く開かれた場所」とすることを軸に考えていた。そのような中で市の計画とも合致していたことから、集約化に賛同させていただいた経過がある。なぜ、文化交流拠点に商工会議所が入るのか、疑問を持たれる方もいると思うので、お話をさせていただいた。

(事業所管課：回答)

プレオープン時もしっかりとルールは定めさせていただいた上で、利用をしてもらうことを想定している。先ほどの説明は、プレオープン期間中の利用状況を踏まえ、そのルールを見直していく予定であるという意味である。
川との境界部分が危ないのではないかとのことであるが、河川区域の特性上、河川の流れを遮るようなものを置くことはできないので、その点をご理解をいただきたい。

- フェンス等は難しくても、可能な範囲で安全対策に取り組んでいただきたい。

(事業所管課：回答)

貸出備品なども用意するので、それらをうまく活用いただければと思う。

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

- 現地を見て、完成が待ち遠しく感じた。学校やPTAの活動で利用をさせていただきたいと思う。地元の河原口自治会も積極的にイベントを開催しているので、自治会等とも連携していきたい。そのような中で、芝生の広場について予約できるものなのか気になっているが、いかがか。

＜(仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)＞

- 現在でも図書館は多くの方が利用しており、人気である。そこに文化交流の拠点が整備されれば、より素敵な場所になるとイメージが湧いた。市外の方も呼び込むことができると良いのではないか。

(事業所管課：回答)

芝生の広場は施設を象徴するエリア。地域住民の交流の場としても位置付けており、自治会からも活用したいとの申し出をいただいている。現時点では、個人利用の予約は受けることを考えていないが、自治会や地域団体などの規模の大きいものについては、占用許可という形で利用を担保できるようにしていきたいと考えている。

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

○ プレオープン時のルールについては、市として譲歩できるものと、できないものをしっかりと整理をしておいてほしい。ゴミや日よけテントの設置等、ルールがあやふやなままだと良くないのではないかな。

＜両事業＞

○ どちらの事業も幅広い年代層を対象にした施設と思うので、交通手段についても配慮いただくようお願いしたい。

(事業所管課：回答)

＜河原口高水敷「(仮称) スポーツ・コミュニティ広場」整備事業＞

市内の他の施設と同様のルールに加え、河川敷としてのルールを定める予定。火器やゴミ箱の関係なども盛り込んだもので、プレオープンを迎えて、状況を見ながら本格運用に向けて、準備を進めていきたい。

交通手段については今後の状況を踏まえて検討していきたい。

＜(仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)＞

文化ゾーン内に You Bus (ユーバス) のバス停や図書館・文化会館との共通の駐車場があることに加え、本施設の敷地内に障がい者用駐車場を整備する予定。交通手段については、利用者等へ今後周知していきたいと考えている。

○ 県も可能な限りで市へ協力していきたいと考えているので、要望等があれば言っていただきたい。

○ 施設のルールについては、住民と協力しながら作り上げていただくとのが双方にとっても良いのではないかな。

○ 県としては「未病改善」を掲げているので、社会参加や外出を促すものの1つとして施設運営をしていただけたらと思う。

(4) その他

特になし

4 閉会